



相馬支援学校 単元案

【資質・能力の育成のための教育活動として】

本校の学校教育目標		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力	自ら考え、協働し、課題を解決していく力	自ら進んで考え、学ぼうとする力
中学部		
知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、生活につなげようとする力	自ら考え、協働し、課題に気付いて改善しようとする力	自ら進んで学ぼうとする力

(生活単元学習) 単元案	単元・題材名	「家族とわたし～命の大切さ～」
--------------	--------	-----------------

指導者：藤田素人 他

【単元・題材での目標】主に中学部2段階で設定

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
道徳	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。		
国語	日常生活や社会生活、職業生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができる。	言葉がもつよさに気付くとともに、色々な図書に親しみ、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
保健体育	体の発育・発達やけがの防止、病気の予防などの仕方について理解し、基本的な技能を身に付けることができる。	自分やグループの健康・安全についての課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができるようにする。	健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。

知的障害者教科等編 (中学部) 国語 2 段階 知技：イ(ア) 思判表：Cイ

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準 内容のまとまりごとの	・考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」 ・語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちの変化など内容の大体を捉えている。	・言葉がもつよさに気付くとともに、色々な図書に親しみ、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとしている。

学習指導要領 (小学校) ※3. 4 年生 体育 G 保健 (体の発育・発達) 参考

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとまりごとの評価規準	・体の発育・発達については、年齢に伴って変化することを理解できるようにするとともに、個人差があることを理解している。	思・判	・体の発育・発達等の仕方などに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとしている。
		表	

学習指導要領 (小学校) 特別の教科道徳 C (15)

評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭を作ろうとしている。 ①父母、祖父母の家族愛に気付くことができる。 ②家族みんなで協力し合って楽しい家庭を考えている。
------	--

【教科等横断的な視点に立った資質・能力】

学習の基盤となる 資質・能力			現代的な諸課題に対応して求められる 資質・能力			相馬支援学校 ならではの力
言語能力	情報活用能力	問題発見・解決能力	地域で起こる災害等への緊急時に対応する力の育成	生活力や地域力の育成	感染症、肥満、運動不足等の自身の健康・安全に関する力の育成	自己理解・自己実現の育成

【何を、いつ、どのように」育んでいくのか】

展開	時数	教科	知技	思判表	主	横断的な力	●どのように【学習活動】 どのような指導で（習得、活用、探究）	習得
第一次	1 2 3 4	国 道徳	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	言	○11月25日～12月2日 ●お母さんの請求書を音読し、出来事の順序や登場人物の気持ちの変化など内容を大まかに捉える。【音読、内容の理解】 ●自信をもって音読することができるように、「、」「。」に気を付けながら読むことを学習したり、漢字の読み方を確認したりする。 ☑大まかな内容を捉えることができるように、「いつ・どこで・だれが・何をしている」かを読み取りながら進める。その際に、視覚的支援を用いる。 ☑出来事の順序や登場人物の気持ちの変化を理解することができるように、助詞や接続詞について学習する。 ☑自分の変容に気付くことができるように、学習前に「家族をどう思うか？」等の内容のアンケートを実施する。	* 自立活動（個々）
	5 6 7 12/9 本時	道徳 国語	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	情生	○12月7日～12月9日 ●お母さんの請求書を音読し、登場人物の気持ちの変化に着目してその理由を語と語や文と文との関係を基に考える。【気持ちの読み取り】 ☑内容の理解を促すために、読み取る際に文中に出てくる請求書をみんなで制作する。 ☑登場人物の気持ちの変化を読み取ることができるように、登場人物の表情や言葉に着目しながら考え、グループで話し合う活動を設定する。 ・請求書と比較する、母の気持ちやたかしの気持ちを読み取る、 ☑登場人物の気持ちの変化の理由を考えやすくするために、作成した請求書を活用したり、自分事として捉えられるような言葉掛けをしたりする。	
第三次	8 9 10	保健体育	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	健	○12月16日 ●生命の誕生及び心身の発育・発達に関する基礎的な事項を知り、自己の性を受容し、自分を大切する。【助産師による特別授業】 ☑道徳で学んだことを深めることができるように、道徳で学んだ家族愛についての内容や登場人物や自分の気持ちなどを振り返る。 ☑自己の性を受容し、自分を大切にすることを育むことができるように、生命の誕生や乳児からの成長などの流れを体験的な活動を通して学ぶ機会を設定する。	* 自立活動（個々）
	11	道徳 保健体育	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	生	○12月21日 ●これまで学んだ事を活用して、今後の生活でできることや工夫することを考える。【自分の生活を考える、学びの生活、保護者からの手紙】 ☑自分や家族を大切にしようとする心情や態度を育むことができるように、これまでの学習を振り返る時間を設定する。 ☑自分の思考を広げられるように、友達の考えを聞いたり、自分の考えと友達の考えを比べたりする時間を設定する。 ☑自分の変容に気付くことができるように、学習前に記入したアンケートと同じものを記入し、変化したかを確認する。	

【他の単元とのつながり】

	「過去の単元」 ○教科等横断的な教育内容の検討・考察	「現在の単元」 ○教科等横断的な教育内容の検討・考察	「今後の単元」 ○教科等横断的な教育内容の検討・考察
国語科	「内容を読み取ろう」	「作品を読んで考えてみよう」	「書いてみよう」（書写）
保健体育科	「体づくり運動」 ～スポーツのかかわり方～	「健康な生活について」 ～保健～	「体の成長とわたし」 ～保健～
道徳科	「国際理解・国際親善」 ～同じ空の下で～	「家族愛・家庭生活の充実」 ～家族とわたし～	「相互理解、寛容」 ～自分のトリセツをつくらう～

単元構想のためのメモ欄

11/25～12/21…11 時間（国語:4 時間→道徳:3 時間→保健体育:3 時間→道徳 1 時間）

☆今単元においては、道徳の「C 主として集団や社会との関わりに関すること 家族愛」について「お母さんの請求書」を取り上げるとともに、国語科、保健体育科を合わせて指導したい。学びの変容を見取るために、授業前と後に家族についてのアンケートを実施する。

◎国語科について…

イ（ア）考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解させたい。

※「理由」は、なぜそのような「考え」をもつのかを説明すること

C イ 語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちの変化など内容の大体を捉えるようにしたい。

※助詞や接続する語句に注意しながら読み、出来事の順序や登場人物の気持ちの変化など、どのような事柄がどのように書かれているかを大まかに捉えること。

◎保健体育科について（性に関する指導の手引き）より…

生命の誕生及び心身の発育・発達に関する基礎的な事項を理解するとともに、自己の性を受容し、自分を大切にしようとする心情や態度を育てたい。

→助産師をゲストティーチャーとして招いて、2 時間授業を行う予定である。

【内容のまとめりごとの評価規準と観点別学習状況の評価】

A	教科	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度	個別の教育支援計画で示されている合理的配慮	観点別学習状況の評価
	国語科	①考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 ②語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちなど内容の大体を捉える。 ③言葉がもつよさに気付くとともに、色々な図書に親しみ、国語を大切にしたいや考えを伝え合おうとしている。	【教育内容・方法】 ・本人が自信をもって取り組む活動や役割を継続して実施できるような場面を設定することで、「できた」という達成感を味わうことができるようにする。 【施設設備（学校、教室等）】 ・本人の気持ちを伝える場所の確保（保健室の養護教諭との連携）	
	保健体育科	①体の発育・発達については、年齢に伴って変化することを理解できるようにするとともに、個人差があることを理解している。 ②自分やグループの体の発育・発達についての課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 ③体の発育・発達等の仕方などに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとしている。		
	特別な教科道徳	○父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭を作ろうとしている。		
その他関連している指導	枠を越えた力 各教科等の学習の文脈の中で、これらの資質・能力が横断的に育成・発揮された姿 【言語能力の育成】 :文章の読み取りを通して、語彙の段階的な獲得や言語理解を図る。 : ●学習評価		自立活動 自立活動：指導計画関連部分 ○自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えるため、言葉や語彙を理解したり増やしたりすること →気持ちの言葉を提示する。 ●学習評価	キャリア発達支援 キャリアガイダンスシート （キャリア発達支援の視点より） ○自己理解・自己管理能力 自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力の育成。 ●学習評価
	その他 気になったところ・個人内評価			

【内容のまとめりごとの評価規準と観点別学習状況の評価】

B	教科	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度	個別の教育支援計画で示されている合理的配慮	観点別学習状況の評価
	国語科	①考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 ②語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちなど内容の大体を捉える。 ③言葉がもつよさに気付くとともに、色々な図書に親しみ、国語を大切にしたいや考えを伝え合おうとしている。	【教育内容・方法】 ・本人が安心して取り組むことができるよう、前もってスケジュール等を伝えたり、活動や役割を継続して実施したりする。 ・「できた」という達成感を味わうことができるように視覚的な教材を準備する。	
	保健体育科	①体の発育・発達については、年齢に伴って変化することを理解できるようにするとともに、個人差があることを理解している。 ②自分やグループの体の発育・発達についての課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 ③体の発育・発達等の仕方などに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとしている。	【施設設備（学校、教室等）】 ・クールダウンをするための場所の確保（刺し子室）	
	特別な教科道徳	○父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合っって楽しい家庭を作ろうとしている。		
	その他関連している指導	枠を越えた力 各教科等の学習の文脈の中で、これらの資質・能力が横断的に育成・発揮された姿 【言語能力の育成】 :文章の読み取りを通して、語彙の段階的な獲得や言語理解を図る。 :●学習評価	自立活動 自立活動：指導計画関連部分 ○安定して活動に取り組むため、活動前に状況把握を丁寧に行い、自分で活動を理解して取り組むことができるようにする。 →学習の流れを提示する。 ●学習評価	キャリア発達支援 キャリアガイダンスシート （キャリア発達支援の視点より） ○自己理解・自己管理能力 自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力の育成。 ●学習評価
	その他 気になったところ・個人内評価			

【内容のまとめりごとの評価規準と観点別学習状況の評価】

C	教科	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度	個別の教育支援計画で示されている合理的配慮	観点別学習状況の評価
	国語科	①考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。 ②語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちなど内容の大体を捉える。 ③言葉がもつよさに気付くとともに、色々な図書に親しみ、国語を大切にしたいや考えを伝え合おうとしている。	【教育内容・方法】 ・自分の思いや考えを相手に伝えることができるように、考える時間や伝える時間を十分に確保する。	
	保健体育科	①体の発育・発達については、年齢に伴って変化することを理解できるようにするとともに、個人差があることを理解している。 ②自分やグループの体の発育・発達についての課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 ③体の発育・発達等の仕方などに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとしている。		
	特別な教科道徳	○父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭を作ろうとしている。		
その他関連している指導	枠を越えた力 各教科等の学習の文脈の中で、これらの資質・能力が横断的に育成・発揮された姿 【言語能力の育成】 :文章の読み取りを通して、語彙の段階的な獲得や言語理解を図る。 ●学習評価		自立活動 自立活動：指導計画関連部分 ○繰り返し自分から発信する活動に取り組み、自分の思いや考えを表出する方法を身に付けることで、自分から発言する意欲を高める。 →考えを表現する際には、十分に時間を確保する。 ●学習評価	キャリア発達支援 キャリアガイダンスシート (キャリア発達支援の視点より) ○自己理解・自己管理能力 自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力の育成。 ●学習評価
	その他 気になったところ・個人内評価			

【内容のまとめりごとの評価規準と観点別学習状況の評価】

D	教科	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度	個別の教育支援計画で示されている合理的配慮	観点別学習状況の評価
	国語科	①考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について知ろうとしている。 ②語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちなど内容の大体を捉える。 ③言葉がもつよさに気付くとともに、色々な図書に親しみ、国語を大切にしていや考えを伝え合おうとしている。	【教育内容・方法】 ・自分で取り組むことを増やすことができるよう、手順表や言葉掛け等の支援を行う。 【施設設備（学校、教室等）】 ・教師とともに、自分の考えを表現する時間を設定する。	
	保健体育科	①体の発育・発達については、年齢に伴って変化することを知ることができるようにするとともに、個人差があることを知ろうとしている。 ②自分やグループの体の発育・発達についての課題を見付け、その解決のために教師の言葉を手がかりに考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 ③体の発育・発達等の仕方などに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとしている。		
	特別な教科道徳	○父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合っって楽しい家庭を作ろうとしている。		
	その他関連している指導	枠を越えた力 各教科等の学習の文脈の中で、これらの資質・能力が横断的に育成・発揮された姿 【言語能力の育成】 :文章の読み取りを通して、語彙の段階的な獲得や言語理解を図る。 ●学習評価		自立活動 自立活動：指導計画関連部分 ○自分の思いや考えを伝えるため、音声言語でのやり取りを増やしたり、補足するための身振りを身に付けたりする。 →教師と共に考えを表現する時間を設定する。 ●学習評価
その他	気になったところ・個人内評価			

【内容のまとめりごとの評価規準と観点別学習状況の評価】

E	教科	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度	個別の教育支援計画で示されている合理的配慮	観点別学習状況の評価
	国語科	①考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について触れようとしている。 ②語と語や文と文との関係を基に、出来事の順序や気持ちなど内容の大体を捉える。 ③言葉がもつよさに気付くとともに、色々な図書に親しみ、国語を大切にしてい思いや考えを伝え合おうとしている。	【教育内容・方法】 ・情緒が不安定になった時に、クールダウンできるような活動に取り組んだり、集団から離れて気持ちを切り替えたりする。 ・自分の思いを伝えることができるコミュニケーションツールを獲得できるよう、生活に即したイラストカード等の活用を促し、情緒が不安定になる前に意思の表出ができるようにする。 【施設設備（学校、教室等）】 ・クールダウンをするための場所の確保（ソファやベランダ等）	
	保健体育科	①体の発育・発達については、年齢に伴って変化することを触れることができるようにするとともに、個人差があることに触れている。 ②自分やグループの体の発育・発達についての課題を見付け、その解決のために教師と一緒に考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えている。 ③体の発育・発達等の仕方などに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとしている。		
	特別な教科道徳	○父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭を作ろうとしている。		
	その他関連している指導	枠を越えた力	自立活動	キャリア発達支援
	各教科等の学習の文脈の中で、これらの資質・能力が横断的に育成・発揮された姿 【言語能力の育成】 :文章の読み取りを通して、語彙の段階的な獲得や言語理解を図る。 ●学習評価	自立活動：指導計画関連部分 ○身振りやサイン、カードの選択を通して、自分の思いを発信する喜びを味わい、他者とのコミュニケーションに繋げることができる。 →イラスト教材を準備する。 ●学習評価	キャリアガイダンスシート (キャリア発達支援の視点より) ○自己理解・自己管理能力 自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力の育成。 ●学習評価	
	その他 気になったところ・個人内評価			

【本時の指導目標】

＜国語科＞

①考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解することができる。

＜特別な教科道徳＞

○家族愛に気付くことができる。(本時)

※父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭を作ろうとしている。(単元)

【本時の指導課程】

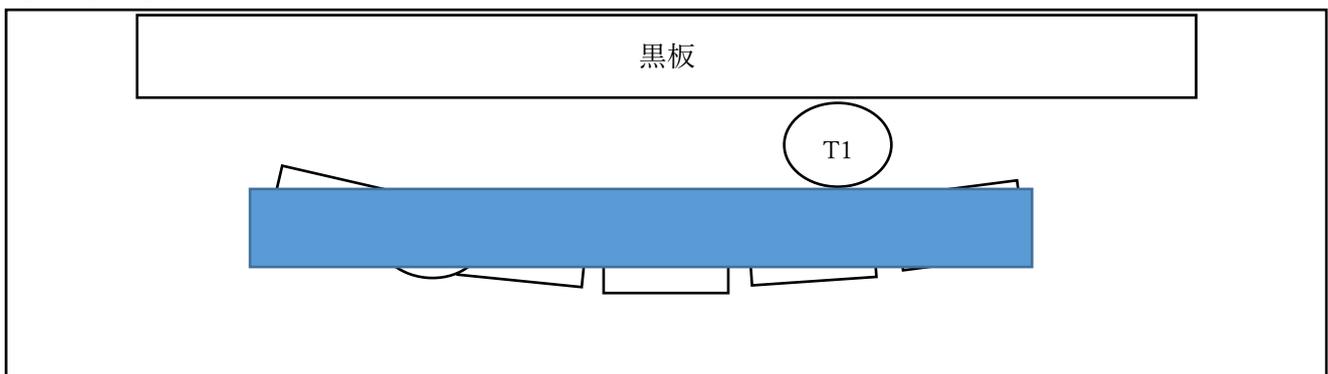
学習活動・内容	時間	主体的・対話的で深い学びのための手立て *評価
1 はじめの挨拶をする。	1	○姿勢を整え、学習の始まりに意識を向けることができるようにする。(T 1)
2 前時までの学習を振り返りながら本時の学習内容を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">たかしくんとお母さんの請求書を比べて、考えてみよう。</div>	8	○学習の見通しをもつことができるように、学習の進め方や終わる時間を提示する。 ○資料を音読した後に前時までの学習について振り返り、本時の内容を伝える。(T 1) ○机間巡視を行いながら、個別に説明する。(T 2)
3 登場人物の気持ちの変化を読み取る。 ○「たかしくんの気持ちの変化」	15	○登場人物の気持ちの変化を読み取ることができるように、出来事の順序など文章に着目しながら進めていく。(T 1) ○たかしくんとお母さんの気持ちの変化が違うことが分かるように、生徒の考えを視覚化したグラフをもとに説明する。(T 1) 主・深 ：学習したことを振り返りながら、自分事として捉えられるような言葉掛けを行い、考えることができるようにする。 *考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解しているか。(国語科)
4 たかしくんとお母さんの請求書を比べながら、違いを見つけ、理由を考える。 ○「お母さんの請求書はなぜ0円だったかな？」	20	○請求書の違いに気付くことができるように、前時で作成した2つの請求書を提示しながら、見比べる時間を設定する。その際に、自由に友達と話し合う時間を設ける。 ○お母さんの請求書について考えを深めることができるように、生徒のこれまでの生活や経験を振り返る時間を設定する。 主・深 ：学習したことを振り返りながら、自分事として捉えられるような言葉掛けを行い、考えることができるようにする。 対 ：友達の考えや自分の考えを比べるよう促し、自分の思考を広げられるようにする。 *家族愛に気付くことができたか(道徳)。
5 たかしくんの気持ちを考える。 ○「お母さんの請求書を繰り返し読んだ後、お母さんにどんな言葉をかけたのかな？」		
6 まとめ	5	○それぞれが行った活動を教師が説明をしながら振り返るようにする。 主・深 ：学習したことを振り返りながら、自分事として捉えられるような言葉掛けを行い、考えることができるようにする。 ○学習の見通しをもつことができるように、次時の学習内容を伝える。
7 おわりの挨拶をする。	1	○姿勢を整え、学習の終わりに意識を向けることができるようにする。(T 1)

【本時の評価基準及び手立てと学習評価】

	教科	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に取り組む態度	手立て及び配慮事項	学習評価
H	国語科	②考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解している。	【教育内容・方法】 ・自分の思いや考えを相手に伝えることができるように、考える時間や伝える時間を十分に確保する。	
	道徳	○家族愛に気付くことができる。		

	枠を越えた力	自立活動	キャリア発達支援
その他関連している指導	<p>各教科等の学習の文脈の中で、これらの資質・能力が横断的に育成・発揮された姿</p> <p>【言語能力の育成】 ：文章の読み取りを通して、語彙の段階的な獲得や言語理解を図る。</p> <p>●学習評価 ・</p>	<p>自立活動：指導計画関連部分</p> <p>○繰り返し自分から発信する活動に取り組み、自分の思いや考えを表出する方法を身に付けることで、自分から発言する意欲を高める。 →考えを表現するには、十分に時間を確保する。</p> <p>●学習評価 ・</p>	<p>キャリア発達支援</p> <p>キャリアガイダンスシート（キャリア発達支援の視点より）</p> <p>○自己理解・自己管理能力 自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力の育成。</p> <p>●学習評価 ・</p>
	<p>その他 気になったところ・個人内評価 ・</p>		

【場の設定】授業全般



【場の設定】グループ活動

